

2013  
11.16 (土)  
12.1 (日)

あ つ ま れ !

新 宮

子 ど も ま ち

探 検 隊



# はじめに

## 子どもまち学習ワークショップ (WS)

本冊子は、総務省の域学連携（地域活力創出モデル実証事業）に位置づけられる域学新宮実行委員会（新宮市・大阪市立大学・大阪府立大学）による4つのプログラム（次頁で紹介）のうちの1つ、「子どもまち学習ワークショップ」の取り組みを報告します。

### 【事業内容】

大学生と児童館（地域）が協働で企画・運営し、まち歩き、地図づくり等を実施すること。

### 【目標】

「土地力を学ぶスタディツアー（ST）」と連携しながら、学生と子どもたちが地域に出向いて、地域巡検を行うことを通じて、地域の歴史や系譜を確認すること。

### 【期待する効果】

子どもたちが、地域の地域のもつ歴史的系譜や社会資源の役割について知り、大学生とともに取り組み、学校や地域で得られる感覚とは異なる知識と表現力を得ること。

新宮子どもまち探検隊

あつまれ!

江戸時代からの城下町であり、世界遺産にあられるまろ、新宮。  
大学生とのまち探検を通して、さらなる魅力を見つけよう!

応募締切 11/2 (土)  
参加費無料

毎パツがもらえるよ!

域学新宮実行委員会（総務省事業）  
新宮市生涯学習課、大阪市立大学

第1回 2019年 11/16 (土) 13:00~  
大学生と一緒に、新宮を再発見しよう!  
1) 大学生と一緒にまちあるきしよう!  
2) 新宮のよいところを発見しよう!  
集合場所：仲之町商店街サタワンホール

第2回 2019年 12/1 (日) 18:00~  
巨大地図をつくって、新宮を発信しよう!  
1) まちの人に聞いてみよう!  
2) 大きな地図をつくろう!  
集合場所：仲之町商店街サタワンホール

お問い合わせ 浮島児童館 TEL:22-4619 橋本児童館 TEL:21-0105 下田児童館 TEL:23-0978

これらのことを踏まえ、「あつまれ！新宮子どもまち探検隊」と題するワークショップを、2回に分け、実施しました。

### 第1回ワークショップ

「大学生と一緒に、新宮を再発見しよう！」



### 第2回ワークショップ

「巨大地図をつくって、新宮を発信しよう！」



ワークショップ…参加者が自ら参加・体験する双方向的な学びと創造のスタイル。  
ガリバーマップ…参加者がまちの知識や情報を大きな地図の上書き込み共有し、多様な視点からみんなで一緒にまちを考え、まちを再発見する、まちづくりの方法。

## 新宮市について

新宮市は、紀伊半島の縁辺の条件不利地域の中で、紀州藩の城下町として、三重県南牟婁郡を含む熊野文化、経済圏の中心地です。基盤産業の撤退や電源治水関連土木事業の縮小により、1970年の4.6万人の人口は、2010年には3.3万人、推計では2.5万人までに減少して、高齢化率も35.2%に達する厳しい状況にあります。

世界遺産の指定やその背景にある熊野文化、質の高い文化自然景観と、歴史的・経済的な都市格を基盤にして熊野地方の拠点都市の機能の維持は、本地方の生命線を握っています。

## 地域の課題

- ① 子どもの学修力、生活力を高めることによる自立、知識、参加の意欲を醸成し、それを支えゆく近い将来の地域力を高めること。
- ② 雇用拡大が大きく見込めない中、生活資源、自然資源の中から生み出される中間就労市場の創造と中間就労を支える社会的企業の育成が求められること。

## 趣旨

地域と大学の協働プロジェクトにより、地域力創造人材の育成と自立的な地域づくりを推進する仕組みの構築を図り、地域再生を積極的に推進します。また、地域がそれぞれの特色を持って活力のある地域づくりを進めることが、日本全体の経済の底上げにつながるということから、本事業を通じて、地域コミュニティの再生や、地域資源の発掘、地域での産業創出、観光を通じた地域活性化等を図ることで、自らの発想で行う特色を持った地域づくりを支援します。

## 地域づくり活動

大学生と大学教員が地域の現場に入り、地域の住民や NPO 等とともに、地域の課題解決、又は、地域づくりに継続的に取り組み、地域の活性化及び地域の人材育成に資する活動をいたします。

## 意義と課題認識

過疎化や高齢化をはじめとした様々な課題を抱えている地域に若い人材が入り、住民とともに地域の課題解決や地域おこし活動を実施するということは、都会の若者に地域への理解を促し、地域で活躍する人材として育成することにつながるとともに、地域に気づきを促して、地域住民をはじめとする人材育成の助けとなります。

## 域学新宮 | 地域づくり活動で展開する内容

子ども会、児童館、小学校を核に運営

### 4つのプログラム

#### ● 子どもまち学習 WS

外に出て新宮のことを誇れる、あるいは問題を認識する、Uターンしても正しい知力で地域づくりに参加できる力を養成する事業

#### ● 土地力を学ぶ ST

地域の歴史や系譜を確認して、地域を正確に把握し、伝えていく術を身に付ける事業

#### ● 出前めきめきプログラム

ワークショップを通じて、子どもとその保護者を含めた表現、コミュニケーション能力の向上を目指す事業

#### ● 地域子ども塾

児童館を拠点として、夜間の補習授業を合宿期間中に実施し、学力向上のための教育補助を行う事業

地域のセーフティネット構築の基礎

次世代への引き継ぎ可能な継続性と持続性を持ったプロジェクト



# 「大学生と一緒に、 新宮を再発見しよう！」

開催日時： 2013/11/16(土) 13:30～16:30  
参加人数： 14人(男の子3人 女の子11人)  
スタッフ： 学生6人 教員3人

## 《目的》

当たり前の中にかくされたまちの<sup>みりょく</sup>魅力を再発見する。  
まちあるき発見シートの作成と発表を通じてみんなの異なる視点に気づきまちの<sup>みりょく</sup>魅力を考える。

## 《ワークショップの流れ》

### 「作戦会議」

約10分

子ども4人または5人と学生2人で構成された、3班に分かれました。  
各班で名札にニックネームを書いて自己紹介をし、今日歩くルートを決めました。

### 「まちあるき」

約1時間20分

各班で決めたルートに沿ってまちあるきを行いました。  
ときどき行きたい方へ寄り道もして、新宮の<sup>みりょく</sup>魅力を探しました。



気になったことはメモをする！写真を撮る！



レンガ造りの塀が珍しいようです・・・

## 子どもたちが見つけたもの

キーワード！

- どうろほそ 道路舗装のタイル
- めずらしい建物
- 看板
- 玄関の緑
- トンネル

たとえば・・・

- ふしぎシリーズ
- 家の前シリーズ
- などなど！他にも・・・

くまのはやたまたいしゃ  
世界遺産の熊野速玉大社～

ちゅうしゃじょう たいみょうじん  
駐車場の中の大明神！！

## 「まちあるき発見シート作成」

約1時間

各班ごとに今日の発見を模造紙にまとめました。子どもたちはときどき学生に質問をしたりして、真剣に取り組み、班ごとに視点が異なるまちあるき発見シートが完成しました。

### まちあるき発見シートの作成手順

1 今日歩いたルートを模造紙に書き込む。

2 まちあるきの中でとった写真から発見シートに使う写真を選ぶ。

3 みんながそれぞれの発見シートに見つけたこと・感じたことなどを書く！

4 発見シートを模造紙にはり付けてタイトルをつけたら完成！



それぞれの写真についてみんなが気づいたことをポストイットに書いて、意見を出していきます！



発見したものが歩いたルートのどこにあったのかを、地図や写真を使ってまとめ、今日の成果としました！

### ★各班のタイトル

1班「ミニ世界遺産」 2班「ナズの多い新宮市」 3班「新宮っておもしろい」

## 「全体発表」

約15分

自分のお気に入りのまちあるきで発見したものを子どもたち1人ずつが発表しました。他の人の発表を聞くことで、自分だけでは気づけなかった新しい発見が得られ、新宮市の魅力<sup>みりやく</sup>を再発見することができました！



みんなそれぞれ気になった点が違っておどろくことも・・・

1回目はこれにて終了！2回目に続く・・・



全体集合写真！！



# 「巨大地図をつかって、 新宮を発信しよう！」

開催日時： 2013/12/1(日) 13:30～16:30  
 参加人数： 21人(男の子5人 女の子16人)  
 スタッフ： 学生6人 教員3人

## 《目的》

前回の発見をふまえた上でまちを歩き、さらなる新宮の<sup>みりよく</sup>魅力を発見する。  
 ガリバーマップという大きな地図を作成して、新宮の<sup>みりよく</sup>魅力を整理し、地域の人たちに発信する。

## 《ワークショップの流れ》

### 「前回の振り返り」

約10分

第1回目の写真を見ながら振り返りを行いました。  
 前回の様子や発見したことを復習して、今回から  
 初参加の子どもたちとも情報を共有しました。



### 「作戦会議」

約10分

第1回目と同様、名札に書いたニックネームを見せながら、  
 自己紹介を行いました。また、雑談をしながら、班ごとに  
 仲良くなり、歩くルートを決めました。



### 「まちあるき」

約1時間

第1回目をふまえて、前回より限られた範囲をよりくわしく探索しました。



みんなで歩いて探検中！

### 1回目をふまえての考え

タイル  
 トンネル  
 看板  
 玄関の緑  
 めずらしい建物

他にはどんなタイルがあるだろう？  
 どんな電車が通っているのだろう？  
 他にはどんな看板があるだろう？  
 大きな緑はどこにあるだろう？  
 どこがめずらしいのだろう？



今回は、まちの人にインタビューも行いました！  
 子どもたちは色々質問をし、知識を深めました。

### 子どもたちが見つけたもの



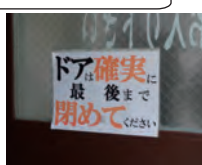
何のタイル？  
 漢字がいっぱい！



水色の電車発見！



大きな緑！  
 変な形？



外なのに扉の内側も見える！  
 めずらしい！！



これも看板？

## 「ガリバーマップ作成」

約 1 時間

全体のまとめとなるガリバーマップの作成です。くつを脱ぎ、地図の上に直接乗ることで巨人ガリバーのように、新宮を見下ろしながらこれまでのルートや発見をまとめあげました。

### ガリバーマップの作成手順

1  
前回と今回のルートを書き込む。

2  
前回のまちあるき発見シートをはがし、ガリバーマップに貼り直す。

3  
今回とってきた写真をはりつける。

4  
発見・おどろき・なぞなどの魅力<sup>みりょく</sup>を直接書き込んでいけば、できあがり！



ルートを書く人、指示をする人、写真をはる人などみんなで作業を分担して、協力しながら真剣に取り組んでいます！

### 「全体発表」

約 30 分

段ボール製の指示棒を使い、一人ひとりガリバーマップの上に乗って新宮で何を見つけ、どう感じたのかを地域の人たちに発表しました。各班の発見したものの一部を紹介します。



1 班

子ども 7 人  
学生 2 人

気になったり、ふしぎだったり、おもしろ看板がいっぱいありました。



2 班

子ども 8 人  
学生 2 人

立派な石垣があったり見晴らしの良い風景がありました。



3 班

子ども 6 人  
学生 2 人

かわいいポストやポール、扉の上のそろばんなど、細かいこだわりを発見しました。









最後はみんなで記念写真を撮影！

完成したガリバーマップはサントウホール前面に大きく展示していただきました！



# まちあるき発見マップ

第1回・第2回まちあるきで各班が歩いたルートと発見したものの一部を紹介します。

|     | 1班  | 2班  | 3班  |
|-----|---|---|---|
| 第1回 |  |  |  |
| 第2回 |  |  |  |



速玉大社の世界遺産



ガンバル食べ物屋さん



魚のタイル



まちなかトンネル



一人ぼっちのタオル



古くてはげている鳥居



スナック多発地帯



巨大ながけと紅葉



たくさんのタヌキ



おかしみ〜つけた!



鳥居がいっぱい



水の出る井戸



今回のまちあるきでは、「新宮の歴史的な風景」(意外と多い鳥居や世界遺産など)、「新宮の地形が感じられる風景」(巨大な崖や山の上のお寺からの見晴らしのよい風景など)、「特徴的な建物がある風景」(古い洋館や中にトンネルがある建物など)、「子どもの視点ならではの面白い風景」(可愛いタヌキの置物や理髪店のアフロのおじさんの看板など)を子どもたちが見つけてくれました。

**2班 ナゾの多い 新宮市**

**3班 新宮っておもしろい**

丹鶴城からのながめ

入口の上にそろばん

古い洋館

ヤタガラスサッカー

西村記念館の家具

寺からの景色

あふろのおっさん

特急電車!

浮島潜入!

道から見える線路

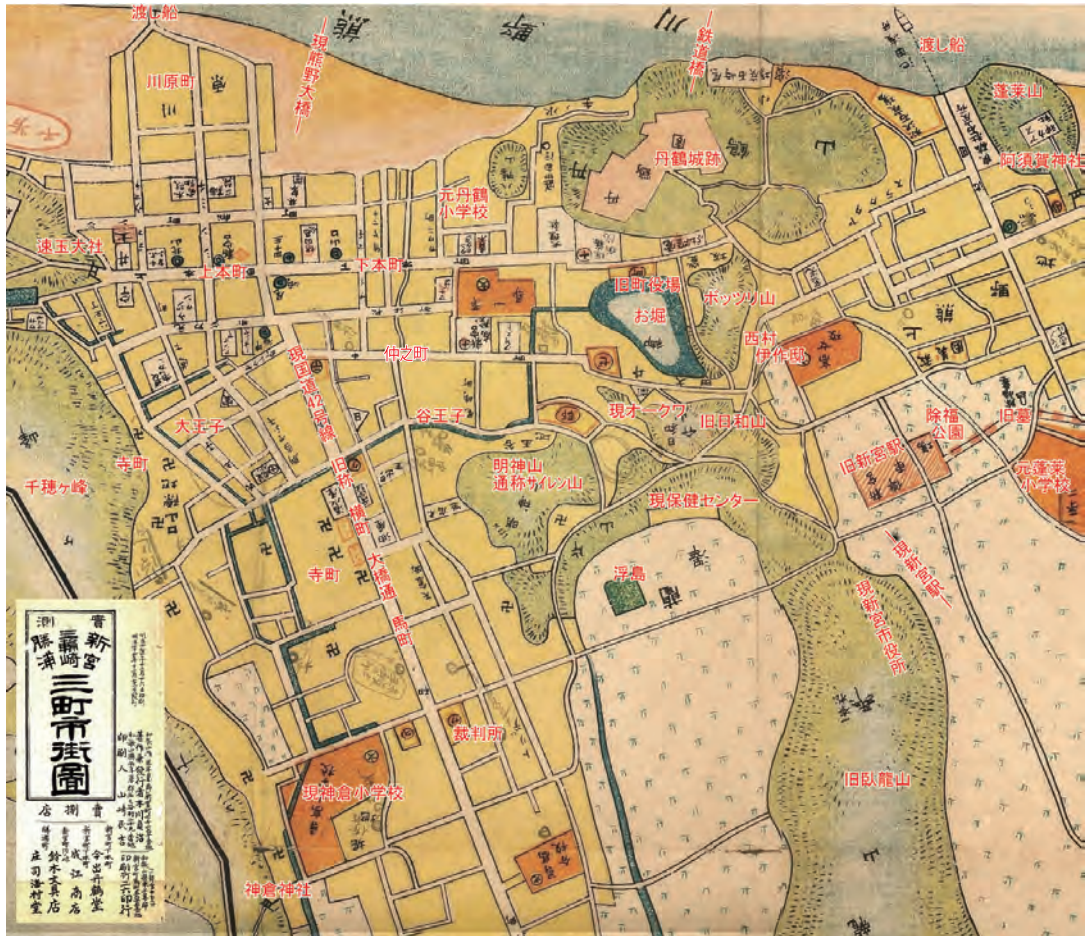
おいしそうなおかし屋さん

さびれた自転車

# コラム

## 新宮って昔はどんなところだったの？

——古地図からみた新宮市



上の地図は、明治44（1911）年の新宮市街図です。今回のまちあるき探検隊は、地図にもえがかれている仲之町（商店街）を出発点にしました。明治末期の地図を見ると、お城の下に「お堀」があって、青色でえがかれている小さな「お堀」がはしっていることがわかります。寺町や大橋通などの位置関係がわかります。新宮市役所ちかくの山がなくなり大きくかわっていますが、丹鶴城跡や、明神山、ボツツリ山などが、いまでものこっています。下の写真は、昭和21（1946）年の地震後の焼跡です。昔からの建物はすっかりなくなってしまいました。歴史のある城下町ですが、災害にもみまわれ、たえず街はかわっていきます。そのなかで、まちあるき探検隊は、街の歴史や地形や景観、建物を見てあるき、いろいろな新宮を発見しました。

（地図、写真は中瀬古友夫氏所蔵）



# ワークショップを終えて

## ——スタッフの感想



谷本 翔平

工学研究科 M1

まちあるきは2日とも快晴で、何事もなく無事に終わることができてよかったです。ただ一つ反省として、時間が足りずに最後の方は駆け足になってしまったことがあります。しかし、子どもならではのまちの切り口を知ることができ、大変面白いものになったと思います。

工学研究科 M1

2回に分けて行ったワークショップだったのですが、どちらも参加してくれた子どももいて良かったです。改めて子どもの発想や着眼点の斬新さや元気を体で実感しました。わいわいと楽しむ姿を見ながら一緒に楽しむことができました。



植平 健



坂井 健

工学研究科 M1

今回の新宮の子どもたちとのまちあるきを通じて、私自身貴重な経験ができたと感じています。新宮の子どもたちに満足してもらえるにはどうしたらよieldろうか、と考えながら準備を行ってきましたが、まちあるき当日に実際子どもたちが真剣にメモをとってくれたり、「先生、先生！ここも行きたい！」とまちあるきを楽しんでいる姿を見て、準備してきた努力が報われた気がしました。

工学研究科 M1

子どもたちとのWSを通して、いつもと違った視点で見ることの楽しさを子どもたちと共に感じることができました。継続して行うことがまちづくりには不可欠だと思うので、今後も頑張っていきたいです。



山本 琢人



ヨハネス・キーナー

文学研究科 D2

橋の下に隠れた猫、古い井戸の手動ポンプ、婆ちゃんのお菓子屋などに子供たちは盛り上がってくれて、新宮の魅力を体験してきました。しかし、それによって、子どもたちが新宮について勉強してただけではなく、私も子どもの目線で見えた新宮の面白さを分かってきて、お互いが成長していける機会でした。

文学研究科 D1

子どもたちとのまちあるきを通して、子どもたちが何を考え、何に興味をもつのかという「子どもの目線」を知ることができ、非常に良い経験になりました。今回のWSが子どもたちにとって自分が住む町に興味を持つきっかけになれば嬉しいです。



中山 穂孝



水内 俊雄

文学研究科 教員

子ども目線になり、未知の都市でのまちあるきワークショップを企画する学生、教員にとっては挑戦的でした。課題は、小学校高学年が、新宮のよいところ、地形、歴史をどのように見つけ出し、実感し、表現するか、について、ガイド側の力量が問われたような気がします。

甲南大学 講師

子どもたちの五感はとても新鮮。見て、触れて、感じ、考えながら、そして年齢の離れた大学生や、いつもと違うメンバーの子どもたちがグループを組む、身近な場所を探検し、まちのイメージを描き出すことにチャレンジしました。まちづくりのちょっとしたきっかけにつながればと思います。



平川 隆啓



佐久間 康富

工学研究科 教員

子どもたちの発見はいかがでしたか？ いつもと違った視点で新宮のまちを知ること、自分の住むまちを誇らしく思う気持ちにつながればと先生方、学生たちと企画しました。この場の成立にご協力いただいた仲之町商店街振興組合のみなさん、新宮市のみなさんにお礼申し上げます。



編集・発行

域学新宮実行委員会（総務省事業）

新宮市教育委員会生涯学習課 大阪市立大学

浮島児童館 橋本児童館 下田児童館

HP: <https://www.connect.osaka-cu.ac.jp/4c/>

発行年月 2014年2月